

7/8 木

# 感染4万7977人 前週2倍超

## 2県最多 東京8529人

国内では7日、新たに4万7977人の新型コロナウイルス感染が確認されました。前週木曜日（2万3442人）の2倍超に増え、17日連続で前週の同じ曜日を上回りました。佐賀、島根両県では過去最多を更新しました。

た。新規感染者は6日に約1カ月半ぶりに4万人を超え、増加傾向が加速しています。

勤省は7日までに全国の自治体に病床確保や検査態勢拡充を求める通知を出しました。

8529人の感染を確認。20日連続で前週の同じ曜日を上回りました。全国で新たに確認された死者は15人。厚労省によると、全国の重症者は67人で前日から1人減りました。

都によると、新規感染者の直近1週間平均は51,217・7で前週比201・6%。都基準

による重症者は前日比2人減の6人でした。大阪府の新規感染者は4615人で、3日連続で4000人を上回りました。佐賀県は694人と4月19日の680人を超え、過去最多を記録。鳥取県も219人と2日連続で最多を更新しました。

7/8 本版

# 都「第7波入った」

専門家  
推計 4週後5.5万人

東京都は7日、新型コロナウイルスのモニタリング会議を開きました。専門家は、オミクロン株の新系統「B A.5」への置き換わりなどにより感染が急拡大し、「第7波に入つたと考えられる」と指摘しました。現在のペースで感染が広がると、2週間後には新規陽性者数が1万5000人を超えるとの推計

も提示。20、30代へのワクチン接種を加速する必要があると訴えました。

A.5」への置き換わりなどにより感染が急拡大し、「第7波に入つたと考えられる」と指摘しました。現在のペースで感染が拡大すると、2週間後には約1万5500人、4週間後には約5万人を超えるとの推計

6日時点の7日間平均の新規陽性者数は4395・3人で、前週の約1・9倍。専門家の「このペースで感染が進みます。都の検査によると、6月21~27日の1週間の感染者のうち、「B A.5」疑い事例は33

の推計を示しました。  
・4%。全体の3分の1に上りました。  
感染状況を4段階で表す警戒レベルは上から2番目を維持しました。  
都はこれを受け、宿泊療養施設などの医療提供体制を「第6波」ピーク時の水準に強化。現在約5000床を確保しているコロナ向けの病床についても、熱中症対応など通常医療とのバランスを踏まえつつ増床の準備を進めます。